

令和 4 年度事業計画書

自 2022 年 4 月 1 日

至 2023 年 3 月 31 日

公益財団法人 佐野美術館

令和4（2022）年度 事業計画書

1. 展示

期間	開催日数	展覧会名		
令和4（2022）年 4/23（土）～6/26（日） ※5/5開館	57	写真展「岩合光昭の世界ネコ歩き2」		
主催・後援等		内容		出版物
主催／佐野美術館 三島市 三島市教育委員会 静岡新聞社・静岡放送 後援／静岡県教育委員会 協賛／セキスイハイム東海株式会社 広告協賛／伊豆箱根鉄道株式会社 企画協力／株式会社NHKエンタープライズ 企画制作／クレヴィス		NHK BSプレミアムで放送中の人気番組「岩合光昭の世界ネコ歩き」の写真展。世界60ヶ所以上の撮影地から、厳選した16地域の個性溢れるネコたちの写真を紹介する。動物写真家・岩合光昭氏とネコの間には流れる不思議な時間をとらえた傑作写真約160点。		図録委託販売
期間	開催日数	展覧会名		
7/2（土）～8/28（日） ※8/11開館	51	あべ弘士の絵本と美術—動物たちの魂の鼓動		
主催・後援等		内容		出版物
主催／佐野美術館 三島市 三島市教育委員会 Daiichi-TV 後援／静岡県教育委員会 協賛／伊豆箱根鉄道株式会社 協力／ギャラリーブルブル 企画協力／ステップ・イースト		現代日本を代表する絵本作家、あべ弘士の展覧会。旭山動物園で飼育係として勤務の傍ら、1989年『雪の上の動物園』を発表。その後1994年『あらしのよるに』（文・木村祐一）で動物たちの交流を描き講談社出版文化賞を受賞。現在は創作活動に専念し毎年のように新作を発表し続けている。約30年に及ぶ画業をデビュー作をはじめ、約40タイトルの絵本原画で迎える。		
期間	開催日数	展覧会名		
9/3（土）～10/23（日）	44	小原古邨 海をこえた花鳥の世界—原安三郎コレクションを中心に		
主催・後援等		内容		出版物
主催／佐野美術館 三島市 三島市教育委員会 静岡新聞社・静岡放送 後援／静岡県教育委員会（予定） 特別協力／中外産業株式会社 企画協力／北國新聞社 石川県立歴史博物館 協賛／伊豆箱根鉄道株式会社		明治30年代から昭和の戦前にかけて、繊細で静謐な花鳥画で人気を博した絵師・小原古邨（1877～1945）。明治後期から大正期に手掛けた版画は海外で高評価を得て、欧米の美術館や個人に収集された。当館の二代目理事長を務めた浮世絵蒐集家・原安三郎（1884～1982）のコレクションにより、近年その再評価の気運が高まっている。同コレクションから明治期を中心に大正・昭和期の版画や師の作品、関連資料等約100点を紹介。		図録委託・買取販売
期間	開催日数	展覧会名		
10/29（土）～12/18（日） ※11/3開館	45	「鎌倉殿」と武将たち—浮世絵版画・浅井コレクションの名品 歌川国芳から月岡芳年まで		
主催・後援等				出版物
主催／佐野美術館 三島市 三島市教育委員会 後援／静岡県教育委員会（予定） 助成／三島信用金庫 協賛／伊豆箱根鉄道株式会社 企画制作／七彩社 企画協力／株式会社クールアート東京 株式会社サンエムカラー		2022年のNHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放送を機縁に、鎌倉幕府を開いた源頼朝と弟・義経を軸に、宿敵平清盛との度重なる戦い、幕府を支えた忠臣たち、そして北条氏の隆盛を浮世絵版画でたどる。「鎌倉殿」とは鎌倉幕府、ひいては源頼朝を意味する。大阪の古書店主・浅井勇助氏が収集した3万枚を超える浮世絵コレクションから、歌川国芳、月岡芳年などの人気絵師を中心とした約100点を展示、ゆかりの地で初公開する。		図録委託販売

期間	開催日数	展覧会名	
令和5 (2023) 年 1/7(土) ~2/12 (日)	32	乱世を駆け抜けた名刀—戦国の動乱から徳川の時代へ—	
主催・後援等		内容	出版物
主催/佐野美術館 三島市 三島市教育委員会 後援/静岡県教育委員会 (予定) 助成/三島信用金庫 協賛/伊豆箱根鉄道株式会社		幾多の戦乱を繰り返し実現された太平の世、江戸時代において、刀剣は優れた武器であると同時に武家の由緒や家格を顕わすアイテムとなった。この時代、実戦で用いる機会がなくなった刀剣は反りが浅くなり、その切れ味を証明するための試し切りの記録が残されたり、また各藩はお抱え刀工を雇い各地で名工が活躍した。乱世をくぐり抜けて大切に伝承されてきた名刀約50件を紹介する。	
期間	開催日数	展覧会名	
2/18(土) ~4/2 (日) ※2/23開館	39	佐野美術館でひな祭り	
主催・後援等		内容	出版物
主催/佐野美術館 三島市 三島市教育委員会 後援/静岡県教育委員会 (予定) 協賛/伊豆箱根鉄道株式会社		佐野美術館所蔵・寄託の雛人形から、享保雛、名工原舟月作といわれる古今雛、江戸八丁堀名物の極小雛飾り、大正時代の御殿飾り、京都を代表する変わり雛のひとつ、おぼこ雛などを紹介、あわせて御所人形、嵯峨人形、賀茂人形など日本の古人形を展示する。	

巡回展示

期間	開催日数	展覧会名	
令和4 (2022) 年 4/16(土) ~6/12 (日)	51	「名刀は語る展」	
主催・後援等		内容	出版物
主催/「名刀は語る展」実行委員会 (愛媛県、あいテレビ) 特別協力/公益財団法人佐野美術館 後援/松山市 松山市教育委員会 愛媛県市町教育委員会連合会 愛媛県小中学校長会 愛媛県美術会 愛媛美術教育連盟 愛媛県文化協会 (公財) 愛媛県文化振興財団 日本美術刀剣保存協会愛媛県支部 (公財) 松山観光コンベンション協会 連合愛媛 伊予鉄グループ 愛媛新聞社 朝日新聞松山総局 読売新聞松山支局 毎日新聞松山支局 産経新聞社 南海放送 テレビ愛媛 愛媛朝日テレビ 愛媛CATV FM愛媛 えひめリビング新聞社 制作協力/NHKプロモーション 協賛/大一ガス		佐野美術館所蔵・寄託の刀剣コレクションより、国宝、重要文化財を含む、平安時代から江戸時代までの代表的な刀工の名品約60点と、刀装具約40点を展示する巡回展。(会場:愛媛県美術館)名刀を通じて、日本人が培ってきた美意識や文化を紹介する。	『日本刀 鑑賞のしおり 佐野美術館蔵品シリーズ 4』を会場館で買取販売

2. 調査研究

- ・末永コレクション、中島コレクションの調査（刀剣、刀装具）

3. 美術品修復

- ・所蔵刀剣の袋作成
- ・久保佐四郎作「御所人形」（大正12年）胡粉劣化の修復

4. 普及活動

（1）ミュージッククラブ活動の推進

①会員数の増大をはかる。（2022年2月28日現在の会員数 407件 32口）

②会員交流活動（日程は予定）

日程	イベント名	内容
4月29日 （金・祝）	会員のつどい	落語（出演：古今亭志ん松）
6月2日 （木）または9日（木）	芸術鑑賞日帰りバス旅行	美術館展示会の鑑賞
5月11日 （水）または19日（木）	第17回ゴルフ大会	芦の湖カントリークラブでのゴルフコンペ
10月8日 （土）	十三夜の宴	出演者：沈琳（二胡）、MAKI code“M”（ピアノ）、仙道さおり（パーカッション）
11月のいずれか1日	館蔵品特別鑑賞講座（作品未定）	佐野美術館所蔵品の鑑賞
令和5年2月のいずれか1日	館蔵品特別鑑賞講座（日本刀）	佐野美術館所蔵品の鑑賞

③ミュージッククラブ研究・研修助成事業の継続

④ミュージッククラブ広報誌「ミュージック交歓」の発行（vol.30・vol.31）

（2）友の会活動への協力

(3) 教育普及活動

①展覧会関連事業

展覧会名	種別	実施日程	講師等	内容	料金等
岩合光昭の世界ネコ歩き2	岩合光昭さん 来館記念イベント	5月3日(火・祝)	岩合光昭(動物写真家)	ギャラリートーク	要申込・要入館券
				サイン会	整理券配布
	イベント	会期中	—	うちのネコ 写真大募集!	—
あべ弘士の絵本と美術	あべ弘士さん 来館記念イベント	7月2日(土)	あべ弘士(絵本作家)	講演会「地球はどうぶつでいっぱい」	要申込
				サイン会	整理券配布
小原古邨	講演会	10月1日(土)	小池満紀子(中外産業株式会社原安三郎コレクション担当、国際浮世絵学会常任理事)	「小原古邨一光と雨の系譜」	参加費500円 要申込
	ギャラリートーク	9/17(土)・10/22(土)	河内えり子(佐野美術館学芸グループ長)	学芸員のミニギャラリートーク	申込不要・要入館券
	体験講座	10月15日(土)	藤井亜希子(表装作家)	「古邨を飾るミニ屏風をつくりましょう」	参加費2,000円 要申込
「鎌倉殿」と武将たち	鑑賞講座	11月19日(土)	河内えり子(佐野美術館学芸グループ長)	展覧会の見どころ&特別鑑賞講座「歌川国芳と月岡芳年の浮世絵版画を見てみよう」	参加費500円 要申込
	ギャラリートーク	11/5(土)・12/10(土)		学芸員のミニギャラリートーク	申込不要・要入館券
乱世を駆け抜けた名刀	講演会	2月4日(土)	渡邊妙子(佐野美術館理事長)	内容未定	参加費500円 要申込
	体験講座	1月15日(日)	渡邊妙子(佐野美術館理事長)・志田理子(佐野美術館学芸グループ主任)	「近くで見よう、日本刀と刀装具」	参加費2,500円 要申込
	体験講座	1月15日(日)	渡邊妙子(佐野美術館理事長)・志田理子(佐野美術館学芸グループ主任)	小中学生対象「近くで見よう、日本刀と刀装具」	参加費(1組)1,500円 (さのびこどもくらぶ会員は500円) 要申込
佐野美術館でひな祭り	体験講座	3月18日(土)	佐野美術館友の会陶芸部	春模様のお皿を作ろう	参加費1,500円 要申込

②学校との協同事業

- ・三島市内および近隣市町の小中学校で、協同授業、出張授業、鑑賞講座などを行う。
- ・協約校特典事業として、日本刀特別鑑賞講座、展覧会見学などを行う。

③講座

タイトル	実施日程	内容等
日本刀初心者講座	2022年4月～2023年3月 ①入門編オンライン講座②中級：刀剣鑑賞③上級：動画配信と刀剣鑑賞 ②③毎月第4日曜日	①「日本刀を学ぶ」②③「日本刀を鑑賞する」 講師：渡邊妙子（佐野美術館理事長） ※初級は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
泉山会	2022年4月～2023年3月 毎月第2日曜日	「日本刀を鑑賞する」 講師：渡邊妙子（佐野美術館理事長）
まひとつの会	2022年4月～2023年3月 毎月第2土曜日	「日本刀を鑑賞する」 講師：渡邊妙子（佐野美術館理事長）・住麻紀（刀剣研究家）

④さのびこどもくらぶ

- ・会員制入館無料パス発行（2022年2月28日現在の会員数 6名）

⑤「2022年度キッズアートプロジェクトしずおか」への参加

⑥ボランティア活動

- ・ボランティア登録者数 2022年2月28日現在 70名
- ・種類 館内サービスボランティア・教育普及ボランティア・仏像解説ボランティア・隆泉苑掃美ボランティア

（4）文化普及事業

事業名	実施日程	内容等
「サマーリースをつくろう」	「あべ弘士の絵本と美術」展会期中 毎週土曜日（初日を除く）	工作イベント 参加費：1回400円
「木製スティックで小物入れをつくろう」	「鎌倉殿」と武将たち展会期中毎週 土曜日	工作イベント 参加費：1回400円

(5) ギャランティ事業

事業名	実施日程	展示期間・作家等
さんしんギャラリー善 (三島信用金庫ギャラリー の運営受託)	※2022年秋から再開予定。作家未定。	

5. 広報活動

- ・佐野美術館広報誌『隆泉』の発行 第72・73・74・75号 各4,500部 計18,000部印刷
- ・展覧会カレンダー制作 40,000部印刷
- ・隆泉苑パンフレット制作 2,000部印刷
- ・各展覧会ポスター・チラシの制作、配布
- ・各展覧会タペストリー・幟旗の制作
- ・展覧会共催マスコミとの連携
- ・ホームページ運営・記事掲載、Twitter、facebookへの投稿、新聞・雑誌への記事掲載 など

6. 総務・管理・運営

- ・令和4（2022）年度理事会・評議員会開催日について
 - 1、第12回定時理事会 （決算） 令和4（2022）年5月下旬（開催予定）
 - 2、第12回定時評議員会 （決算） 令和4（2022）年6月中旬（開催予定）
- ・月例理事会
 - 1、3ヶ月に1回程度開催予定
- ・設備投資の見込みについて
 - 1、本館2階、1階エアカーテン設置工事（2022年4月6日～18日のうちの7日間程度）
- ・大規模修繕工事について
 - 1、隆泉苑日本家屋（クラウドファンディングの結果により実行する）
- ・行事 なし